

小4～

地球環境問題について考えてみよう

数人グループ

4Rに取り組もう

2時間

屋内

概要

4Rについて学習し、今していること・やってみたいこと・疑問に思っていること等を書き発表する。

ねらい

- ・4Rについて、していること、やってみたいことを互いに出し合うことにより、参加者の意識の共有をはかり、互いの実践を確認しあう。
- ・4Rに対する興味・関心をうながす。
- ・人前で発表するという活動を通じて、他人に対して自分の意見を話せる発表能力を養う。

準備物

調査用紙

筆記用具、マジック

模造紙

アンケート用紙

進め方

活動	時間	内容	注意事項
導入	5分	4Rについて、知っているかどうかを問う。	小学生の場合、4Rが英語なので、指導者から説明。(参考資料参照)
作業等	75分	<ul style="list-style-type: none"> ・調査用紙配布。 ・調査用紙に4Rについて、家でしていること、やってみたいことを書く。 ・各自が調査用紙に書いた内容をグループの中で互いに発表する。 ・発表後、互いに質問を出し合う。 ・全体発表をするための準備をする。 発表者を決め、どんな発表をするか相談する。(みんながしていた取組、ユニークな取組など) ・発表のための資料を作成する。 発表の仕方は自由にした方が、創意工夫をした発表が期待できる。(例：表形式・新聞形式・劇仕立など) 	<ul style="list-style-type: none"> 発表前に、ルール(意見を批判しない)を確認する。 ・参加者の様子を見ながら内容、作業時間を調整する。 ・「どうすれば人の関心を引くことができるか」「印象に残るような発表の仕方は？」というような発表の仕方にも工夫するよう、各グループへ働きかける。
まとめ	40分	<ul style="list-style-type: none"> ・発表順を決める。発表ルールの説明。 ・発表、質問 ・他の人の話を聞くことで新たな発見があること、取り組みを一つ一つ積み重ねていくことの重要性を認識させる。 ・「リサイクルが一番大事」と思っている人が多いが、リサイクルより前にできること、リサイクルよりもっと効果的なことがたくさんあることを認識する。 ・アンケートの記入 	<ul style="list-style-type: none"> 進行役は指導者でも子どもの代表でも良いが、あらかじめ決めておく。 他グループが発表する時は、おしゃべり厳禁。必ず質問を受ける。

(授業の場合 導入・作業等・まとめ 45分×3)

注意事項：・こどもの年齢や集団の人数によって、一つ一つの作業にかかる時間が違ってくるので、あらかじめ所要時間を想定し、少し余裕を持ってプログラム構成を行う必要がある。

・このプログラムはこれからの取り組みの出発点とするためのものなので、「それは Reuse ではない。」といった内容の正誤にはあまりこだわらないように注意する。

引用元参考文献

省資源・省エネルギー活動ガイドブック「ステップ1・2・3」'95

(経済企画庁国民生活局(現：内閣府))

ゼロエミッションシティ広島の実現に向けて(広島市環境局環境政策課)


解説


このプログラムは、ふだん家庭でもしている身近な取り組みを整理すると同時に、他人の取り組みを参考にして「これなら自分でもできる」といったような取り組みを情報収集し、自分たちの活動を広げていくためのものである。


また、行動につながる出発点のプログラムでありこれで完結するものではないので、内容をきれいにまとめてしまう必要はない。参加者が「よし、今日からこんなこともしてみよう。」という気持ちになれば大成功である。


リサイクル(recycle)が環境問題(とりわけごみ問題)では最も大事だとよく言われているが、エネルギーコスト面から見るとリサイクルには相応のエネルギーを費やさなければならず、リサイクル社会自体が大量消費・大量廃棄を前提とした考え方である。省エネを目指すためには、refuse・reduce・reuse といった行動を通して、まずゴミを出さない社会を作ることが大切で、そのために自分には何ができるかということを考えさせるためのプログラムである。

このシートは、4Rを整理するためのシートです。
今、自分が(自分の家で)していること
やってみたいこと
等を書き、それぞれの4Rを書いてみて下さい。

 **R e f u s e** (^{きよひ}拒否する)

 **R e d u c e** (^へ減らす)

 **R e u s e** (^{さいりよう}再利用する)

 **R e c y c l e** (リサイクルする)

アンケート用紙

名前()

- 1．今日の活動で、一番印象に残ったことは何ですか。
- 2．他の人の活動で、自分もやってみたいと思ったことがあれば書いてみましょう。
- 3．今日の活動を通して、これからの自分の生活の中で、考えていきたいことがあれば書いてみましょう。
- 4．今日の活動の中で、わからなかったことがあれば書いてください。
- 5．発表はどうでしたか。うまくできなかったこと、できなくて反省したこと等、発表について、何でもいいから書いてみてください。

4 R とは

リフューズ(**R**efuse)=拒否

不用なものは買わない、受け取らない。



行動例

買物袋の持参を心がけ、ごみとなるレジ袋は断る。
商品への過剰包装は断る。
無料だからといっても不用なチラシ類は受け取らない。

リデュース(**R**educe)=発生抑制

詰め替え容器を利用したり、長期使用によりごみの発生を減らす。



行動例

調味料、洗剤などは中身だけを詰め替えてできる商品を買うように心がける。
家具や電化製品を長く大切に使う。
不必要にトレイ包装された食品より、バラ売り、量り売りのものを買う。

リユース(**R**euse)=再使用

ものを修理したり、人に譲るなどごみとしないで何度も使う。



行動例

ものは大切に使い、壊れたり古くなったものは修理やリフォームして長く使うよう心がける。
フリーマーケット、リサイクルショップなどを積極的に利用する。
ビールなどは洗うだけで繰り返し使うことのできるリターン容器に入った商品を買うように心がけ、使用後は販売店に返却する。

リサイクル(**R**ecycle)=再生利用

資源ごみを分別し、資源として活用する。



行動例

リサイクルプラスチックや資源ごみは、ルールを守ってきちんと分別して排出する。
資源物の集団回収などを積極的に利用する。
食品トレイ、牛乳パックなどは、店頭回収している店に持っていく。
エコマークなど環境ラベルの付いた再生素材が使われている商品を購入する。